



平成 28 年 5 月 12 日

各 位

会社名 阿波製紙株式会社
代表者名 代表取締役社長 三木 康弘
(コード番号：3896 東証第二部)
問合せ先 取締役常務執行役員 吉井 康夫
(TEL. 088-631-8101)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 28 年度から平成 30 年度までの 3 年間を対象とする中期経営計画を下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 会社の経営の基本方針

当社グループは、創立以来一世紀に渡る歴史の中で原料・抄紙・加工技術を革新し、和紙製造から特殊紙さらに総合機能材メーカーへと業態を変化させてきました。

当社グループは、果たすべき使命として紙の可能性を追求し、新しい機能材料を開発すること、環境との調和を目指した商品を開発・製造することを掲げ、独自の製品・技術・サービスで世界一の会社を目指しております。これからも、紙の領域を超えて機能材・機能部品・機能製品を提供することで、時代の変化を先取りし挑戦し続ける総合機能材メーカーとして進化・発展してまいります。

2. 目標とする経営指標

当社グループでは、健全な経営と企業価値向上のため、総資本経常利益率(ROA)10%以上を目標として掲げております。

今回の中期経営計画については、3年後の総資本経常利益率(ROA)は8%といたします。

売上高及び利益率の持続的向上や資本の効率的運用に取り組み、この目標の達成に向けてグループ一丸となって注力してまいります。

3. 中期経営方針

当社グループは、中期経営について以下の基本方針を掲げております。

「新市場の開拓と事業領域の拡大」

「中核商品のグローバル市場における競争優位の追求」

新市場の開拓と事業領域の拡大については、成長を続ける環境・次世代エネルギー分野で、当社の強みである生産技術力を活かした熱伝導材、電磁波吸収材、断熱材などで新たな市場開拓を目指しております。また、炭素複合材 CFRTP（炭素繊維強化熱可塑性プラスチック）や MBR（膜分離活性汚泥法）用浸漬膜及びユニットにつきましても、引き続き市場ニーズの探索を進め、事業領域をさらに拡大してまいります。

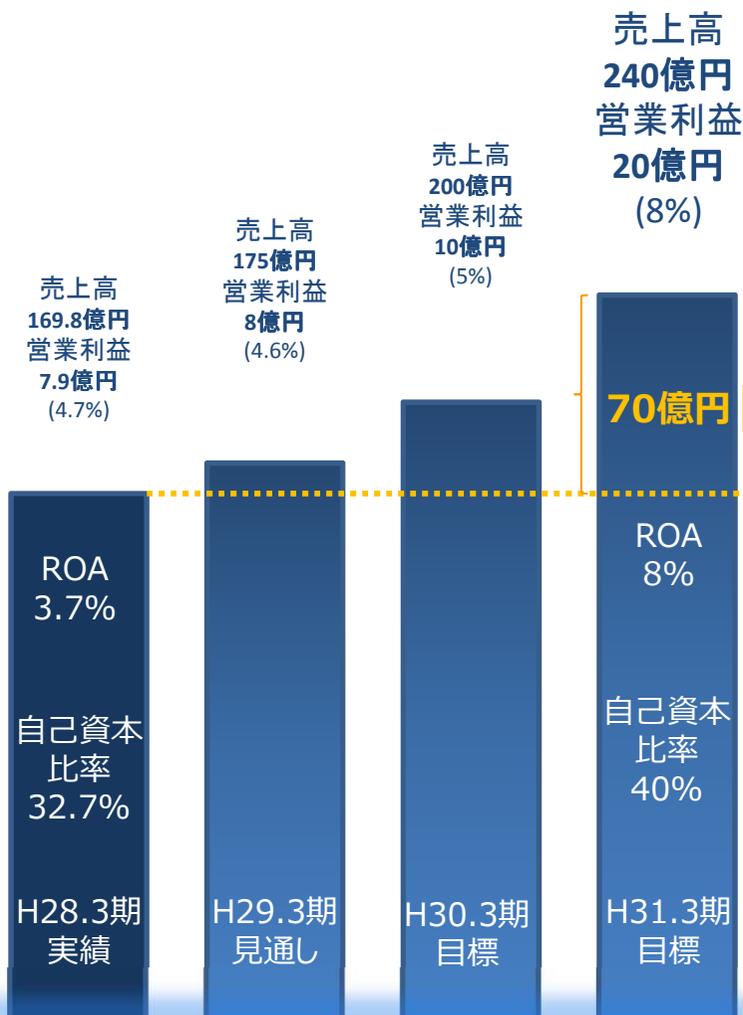
中核商品のグローバル市場における競争優位の追求については、既存の自動車関連資材及び水処理関連資材について、国内外の生産拠点のネットワークを活用し、国内はもちろん世界中に安定した品質でタイムリーに供給できる体制を構築するとともに、価格面だけでなく品質面、技術面においても高い競争力を有し、市場シェアの向上を図ることで安定した成長・発展に努めてまいります。

このように、当社グループは販売活動を世界に広げ、安定成長を見込む中核商品と成長分野での新事業からなる積極的な経営を目指してまいります。

以 上

中期経営ビジョン

H31.3月期



成長戦略

■ 新規事業 30億円

ブルーオーシャン(競争のない市場へ)
ブラックマテリアル(炭素繊維等複合材の活用)
ホワイトプロダクツ(コア技術の商品展開)
による事業領域の拡大
→M&Aの積極的活用

■ 既存事業 40億円

競争優位の追究による売上・利益の最大化

成長戦略を連携・投資で支える

投資計画 60億円
3か年合計

■ 戦略投資

増産設備対応
研究開発の強化
M&A
BCPの推進
IOTとICT投資

・ 注意事項

当社では事業環境の変化に対応するため、3年間の中期経営計画を1年毎に更新を行う「ローリング方式」を採用しております。
また、本資料に記載されている見通し・目標は、種々の前提に基づくものであり、将来の計数数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。